ステップアップシート　（９）月の実践

**記入例**

・単元名　　　「友だちのことをもっとよく知るために、話し方名人・聞き方名人になっ

て、たからものをしょうかいしよう」（話・聞）

・教材名　　　「たからものをしょうかいしよう」（東京書籍　２年上）

・身に付ける力　… 話す事柄を考え、順序立てて話すこと。

… 大事なことを落とさず、興味をもって聞くこと。

《本単元の大まかな流れ》（全７時間）

一次：教師によるモデルを通して発表への見通しをもち、学習課題と学習計画を立てる。

二次：モデルを基に、宝物紹介の内容や話し方・聞き方の工夫について検討する。

それらを踏まえて発表の練習を行う。

三次：学級で発表会を行い、学習を振り返る。

本単元における授業改善の流れ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業改善の観点** | 児童の実態把握 | 教師の課題把握（目指す児童の姿の設定） | 本単元で取り入れる手立ての選択 | 取り入れた手立ての有効性の検討　（◯：成果、●：課題） | 本単元での児童の姿 | 次の単元に向けた手立ての検討※課題（●）の改善策となる手立て等 |
| **単元前** |  |  |  |  |  |
| **Ａ　見通す** | **②** | 単元の学習計画に沿って、身に付ける力を意識しながら、本時や単元のゴールを見通している。 | **ｈ　　　 ｊ** | 児童が行う（作成する）言語活動のモデルを教師が示すことで、児童の「ああなりたい」「こうしたい」という願いや思いを引き出す。到達基準を提示することで、児童が目的意識や意欲を持続できるようにする。 | ◯児童が行う宝物紹介のモデルを教師が示したことと、モデルに出てきた実際の宝物を用意したことで、児童が単元のゴールをイメージしやすくなり、意欲が高まった。◯学習計画表を掲示したことにより、児童は単元のゴールを見据え、今どの部分を学習しているのか把握することができた。●単元の途中で、児童は明確な目的意識をもつことができなかった。 | **②** | **ｉ　　　 ｊ** | 児童の学習履歴や単元の特質に応じて学習過程に軽重を付けることで、指導事項の習得を促す。到達基準を提示することで、児童が目的意識や意欲を持続できるようにする。 |
| **Ｂ 自ら考える** | **①** | 自ら問いを立て、何をどのようにしたら解決できるか考えている。 | **ｈ　　 ｏ****′** | モデルを提示することで、学習のゴールで身に付けるべき力に気付けるようにする。　学習成果を中間発表として他者に披露させることで、互いのよさに気付けるようにする。 | ◯注目させたい項目ごとに、宝物紹介のモデルを教師が示した。それにより、児童はモデルを比較しながらそれぞれのよさに気付き、自分が話すべき内容を考えることができた。**ステップ**◯隣の学級の児童と発表の様子をビデオで見せ合うことで、互いの発表の仕方や内容のよさに気付くことができた。 | **②** | **ｌ** | 　学習する内容や相手等について児童が自ら決めたり選んだりする場を設けることで、積極性につなげる。 |
| **Ｃ 対話する** | **①** | 感想や意見を伝え合う中で、共通点や相違点、互いのよさ等に気付いている。 | **ｍ　　 ｑ****′** | もち寄った互いの考えを比較させることで、共通点や相違点に気付けるようにする。ＩＣＴ機器を用いることで、自分たちの対話を客観視できるようにする。 | ◯宝物紹介で取り扱う内容について、児童がモデルから見付けたよさを全体で比較・検討したことで、学級全体で「宝物紹介するときのポイント」を整理することができた。●タブレットを用いて発表会の様子を動画で記録し、発表会後にグループで振り返らせたところ、そこで初めて改善点に気付く児童も多かった。練習の段階からタブレットを用いればよかった。 | **①** | **ｐ****′** |  話し合う際の観点や目的を明確に示すことで、考えの広がりや深まりを促す。 |
| **Ｄ 振り返る** | **①** | できるようになったことや分かったことについて、理由や根拠を挙げながら、振り返っている。 | **ｊ****′** | 到達基準を基に学習を振り返らせることで、自分の学びを実感できるようにする。 | ◯単元計画表に対応するように、児童が振り返りを記入できる欄を設けたワークシートを作成した。児童は、学習したことや次時に取り組みたいことについて、毎時間振り返ることで、学びを実感することができた。**ステップ**●質問するときに使う言葉や、答えるときに使う言葉などをまとめて、カード化したりファイリングしたりさせておけば、児童がそれらを活用して学びを振り返ることができたのではないか。 | **②** | **ｖ** | 習得した知識及び技能、考え方等をカードやファイル等に蓄積させておくことで、次の学習でも活用できるようにする。 |
| **単元後** |  | **ｗ** | 単元で学んだことについて、日常生活の中で活用する場を設定することで、学びの習熟を図る。 | ○単元後、朝の会で学習したことを基にスピーチをしたり、友達のスピーチを聞いたりする中で、少しずつ指導事項が定着していった。 |  |  |  |

ステップアップシート　（　　）月の実践

《本単元の大まかな流れ》（全　　時間）

第一次：

第二次：

第三次：

・単元名　「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」（　　）

・教材名　「　　　　　　　　　　　　　　　」（　　　　）

・身に付ける力

　本単元における授業改善の流れ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **授業改善の観点** | 児童の実態把握 | 教師の課題把握（目指す児童の姿の設定） | 本単元で取り入れる手立ての選択 | 取り入れた手立ての有効性の検討　（◯：成果、●：課題） | 本単元での児童の姿 | 次の単元に向けた手立ての検討※課題（●）の改善策となる手立て等 |
| **単元前** |  |  |  |  |  |
| **Ａ　見通す** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **Ｂ 自ら考える** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **Ｃ 対話する** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **Ｄ 振り返る** |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **単元後** |  |  |  |   |  |  |  |